

●●● 参加申し込み方法・諸注意

サイエンスカフェ岡山の申し込みは**お電話**でお願いいたします。

倉敷科学センター 086-454-0300

対象：中学生以上の一般 定員：20名（定員に達しだいしめきり）

参加費：1000円（飲食代として）※第6回は飲食費の実費を徴収

※サイエンスカフェ岡山の席上は**禁煙**です。

※駐車場満車の際は、近隣の**有料駐車場をご利用ください**。



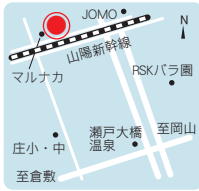
→ **夢空間はしまや**
倉敷市東町1番20号
☎ 086-422-2564
<http://www.hashimaya.com>



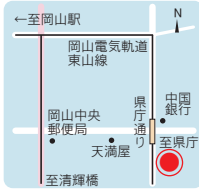
→ **アートガーデン**
岡山県岡山市富町1-8-6
☎ 086-254-5559
<http://www.dbiglobe.ne.jp/agarden/>



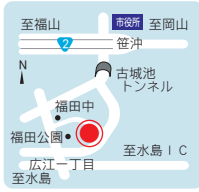
→ **Cafe Z**
岡山市浜野2-1-35
☎ 086-263-8988
<http://cafez.exblog.jp>



→ **ポンヌフ**
倉敷市上東516-7
☎ 086-462-8300
<http://www.pontneuf.jp>



→ **ルネスホール**
岡山市内山下1-6-20
☎ 086-225-3003
<http://www.renaissance.or.jp>



→ **ライフパーク倉敷科学センター**
倉敷市福田町古新田940
☎ 086-454-0300
<http://www.city.kurashiki.okayama.jp/lifepark/ksc/>



ようこそサイエンスカフェへ

楽しみ方は人それぞれ。
会話に参加するもよし。
聞くだけでもよし。
必要なのは科学への興味だけ…。

「科学はむずかしい」なんて身構えずに、私たちはもっと身近に科学の会話を持ち込んでみないのでしょうか？魅力にあふれている科学の世界なのですから、もっともっと味わなければもったいない。



サイエンスカフェは、科学をテーマに専門家と市民が気軽に会話を楽しむことを目的としています。街角のカフェをお借りして、お茶を片手に科学談義。専門家も参加者の一人として市民の輪の中に入りつつ話題を提供し、自由に語り合うことを通して、お互いに科学への興味や理解を膨らませていくのです。サイエンスカフェはこれまでの講義や講演会にはない、新しいスタイルの科学イベントなのです。

2007年より動き出したサイエンスカフェ岡山。
専門知識はいりません。ちょっとでも興味を持っていただけましたら、ぜひご参加ください。

●●● お問い合わせ
サイエンスカフェ岡山実行委員会事務局
倉敷科学センター ☎ 086-454-0300

主催：サイエンスカフェ岡山実行委員会
共催：倉敷市教育委員会（倉敷科学センター）
国立天文台 岡山天体物理観測所
後援：岡山県教育委員会／岡山市教育委員会／山陽新聞社
朝日新聞岡山総局／読売新聞大阪本社／毎日新聞岡山支局
岡山日日新聞社／**NHK** 岡山放送局／RSK山陽放送
OHK岡山放送／RNC西日本放送／TSCテレビせとうち
KSB瀬戸内海放送／エフエム岡山／岡山シティエフエム
エフエムくらしき／エフエムゆめウェーブ

この活動は、独立行政法人科学技術振興機構の地域科学技術理解推進活動推進事業 機関活動支援により実施しています

おいしい科学を召し上げれ．．．

Science Cafe **OKAYAMA**

サイエンスカフェ岡山

開催日時：2007年9月2日(日)～2008年3月16日(日)

主催：サイエンスカフェ岡山実行委員会

共催：倉敷市教育委員会（倉敷科学センター）

国立天文台 岡山天体物理観測所

イベント詳細および参加お申し込み方法については、HPをごらんください

<http://www.city.kurashiki.okayama.jp/lifepark/ksc/sciencecafe/> または「サイエンスカフェ岡山」で検索。



だれもが科学を身近なものに感じ、専門家は成果や知識を身近なものに近づけ、お互いに興味や関心を膨らませていくことを目的としています。

98年にイギリスで始まり、欧米に急速に広まったサイエンスカフェは、日本国内でも人気を呼び、各地でさまざまな試みが進められています。

➔ 参加申し込み方法などは背面をご覧ください

第1回 9月2日(日) 15:00~17:00

泉浦 秀行 Hideyuki Izumiura

国立天文台 岡山天体物理観測所助教 (岡山市)

「岡山大さがす、第二の地球」

➔ 夢空間はしまや (倉敷市東町)

この宇宙にはどのような惑星があるのか——これは、私達の太陽系だけではなく、第2の太陽系、第2の地球の存在とも関わる天文学の最重要テーマの一つです。岡山天体物理観測所ではその謎を解くために、



太陽以外の星を周る惑星の探索を行っています。この探索で威力を発揮する観測装置「高分分光器 HIDES(ハイデス)」とはどのようなものなのか? 開発秘話や観測現場の生のお話も交えながらご紹介します。

第5回 12月16日(日) 15:00~17:00

船田 智史 Satoshi Funada

科学実験エキスパート (大阪府東大阪市)

「科学実験の魅力に触れる」

➔ ボンヌフ (倉敷市上東)

サイエンスレンジャーとして、いままで行なってきたいろいろな「科学実験」を体験してもらいながら、科学について何かを感じてもらえたらと思います。特に、生活でよく使う身近なモノから科学を見



つけていきましょう。その場で終わるのではなく、家に帰られたあとにご自身でもちょっとやってみようかな? という気持ちになっていただくためのカフェにしたいですね。

第2回 9月30日(日) 15:00~17:00

寺菌 淳也 Junya Terazono

会津大学助教 (福島県会津若松市)

「日本の月探査機『かぐや』飛ぶ！」

➔ 夢空間はしまや (倉敷市東町)

日本は、9月に月探査機「かぐや」(セレーネ)を打ち上げます。アポロ以来実に40年近く。「アポロ以来の大型月探査」というキャッチフレーズで、15の観測機器を搭載した「かぐや」は、これまでの月の知識を大幅に増やしてくれるでしょう。「かぐや」が開く月のサイエンスと謎。さらに、各国が計画しているライバル探査機など、最新情報を織り交ぜながら、月探査の過去、現在、未来をたどっていきましょう。



2006年8月、国際天文学連合で惑星の定義が確定しました。次々ともたらされる新発見により、冥王星の位置づけを見直すなど、太陽系の概念や広さの認識は大きく変わろうとしています。今回のサイエンスカフェでは、一般にはちょっと分かりにくい惑星定義の内容やその背景について、日本学術会議「太陽系天体の名称等に関する検討小委員会」での議論の結果をふまえて分かりやすく紹介します。

第6回 1月27日(日) 10:00~12:00

縣 秀彦 Hidehiko Agata

国立天文台 普及室長 (東京都三鷹市)

「冥王星のその後 新しい太陽系像にせまる」

➔ ルネスホール (岡山市内山下)

2006年8月、国際天文学連合で惑星の定義が確定しました。次々ともたらされる新発見により、冥王星の位置づけを見直すなど、太陽系の概念や広さの認識は大きく変わろうとしています。今回のサイエンスカフェでは、一般にはちょっと分かりにくい惑星定義の内容やその背景について、日本学術会議「太陽系天体の名称等に関する検討小委員会」での議論の結果をふまえて分かりやすく紹介します。



2006年8月、国際天文学連合で惑星の定義が確定しました。次々ともたらされる新発見により、冥王星の位置づけを見直すなど、太陽系の概念や広さの認識は大きく変わろうとしています。今回のサイエンスカフェでは、一般にはちょっと分かりにくい惑星定義の内容やその背景について、日本学術会議「太陽系天体の名称等に関する検討小委員会」での議論の結果をふまえて分かりやすく紹介します。

第3回 10月14日(日) 15:00~17:00

山本 道成 Michinari Yamamoto

第47次日本南極地域観測隊越冬隊員 (京都府綾部市)

「南極で過ごした16か月」

➔ アートガーデン (岡山市富町)

私は第47次日本南極地域観測隊に参加して昭和基地での越冬を経験してきました。サイエンスカフェではこの16ヶ月間の体験を皆様にご紹介します。昭和基地ではオーロラの観測を担当していましたので色々なオーロラを見ることができました。また、寒さによるものや南極ならではのおもしろい現象やペンギンやアザラシなどの生き物、基地や野外での生活などをご紹介できればと思っています。



私は第47次日本南極地域観測隊に参加して昭和基地での越冬を経験してきました。サイエンスカフェではこの16ヶ月間の体験を皆様にご紹介します。昭和基地ではオーロラの観測を担当していましたので色々なオーロラを見ることができました。また、寒さによるものや南極ならではのおもしろい現象やペンギンやアザラシなどの生き物、基地や野外での生活などをご紹介できればと思っています。

第7回 2月17日(日) 15:00~17:00

宮田 浩樹 Hiroki Miyata

熱気球パイロット (愛知県犬山市)

「熱気球 世界の空を行く」

➔ 倉敷科学センター (倉敷市福田町古新田)

1987年21歳のときに熱気球と出会い、1992年に念願の熱気球パイロットの資格を取得。以後、鈴鹿、栃木、佐賀などの熱気球レースを転戦する暮らしとなりました。海外でも、アメリカ、オーストラリア、トルコ、中国、スペイン、ドバイ(UAE)、オーストリアなどの空を飛んできました。目標は、熱気球レースのワールドチャンピオンとなること。熱気球は空を飛ぶ科学。その魅力を多にご紹介します。



1987年21歳のときに熱気球と出会い、1992年に念願の熱気球パイロットの資格を取得。以後、鈴鹿、栃木、佐賀などの熱気球レースを転戦する暮らしとなりました。海外でも、アメリカ、オーストラリア、トルコ、中国、スペイン、ドバイ(UAE)、オーストリアなどの空を飛んできました。目標は、熱気球レースのワールドチャンピオンとなること。熱気球は空を飛ぶ科学。その魅力を多にご紹介します。

第4回 11月13日(火) 15:00~17:00

福島 円 Madoka Fukushima

オーロラウォッチャー (横浜市)

「オーロラに会いに行こう！」

➔ Cafe Z (岡山市浜野)

20年近く前に初めてアラスカを訪れ、光の舞いに魅せられて以来、毎年会いに出かけています。オーロラは地球と宇宙との境目で起こっている現象で、なかなか気紛れですが、様々な姿や振る舞いを見せてくれると共に、宇宙空間の情報も伝えています。これまでに撮影した写真をご覧いただき、撮影裏話なども交えながら、地球と太陽とが織り成すオーロラの世界へご案内したいと思います。



20年近く前に初めてアラスカを訪れ、光の舞いに魅せられて以来、毎年会いに出かけています。オーロラは地球と宇宙との境目で起こっている現象で、なかなか気紛れですが、様々な姿や振る舞いを見せてくれると共に、宇宙空間の情報も伝えています。これまでに撮影した写真をご覧いただき、撮影裏話なども交えながら、地球と太陽とが織り成すオーロラの世界へご案内したいと思います。

第8回 3月16日(日) 15:00~17:00

白崎 修一 Shuichi Shirasaki

第4回宇宙飛行士選抜試験最終選考受験者・麻酔科医 (札幌市)

「夢を追いかけて~私の宇宙飛行士への挑戦」

➔ 夢空間はしまや (倉敷市東町)

夢のまた夢だからできっこないや、と思っ



ていませんか? 私は40歳を目前にして、第4回日本人宇宙飛行士選抜試験にチャレンジしました。来年スペースシャトルで宇宙に行く星出宇宙飛行士ら3名が選ばれましたが、幸運なことに私も最終選考にまで残ることができたのです。何事も一歩前へと踏み出す勇気が大切です。そんな私の、とても楽しかった宇宙飛行士受験のエピソードをご紹介します。